

7 月 18 日 : 大型株を中心に売りが広がり、ベトナム株は下落

大型株を中心に強い売り圧力を受け、木曜日のベトナム株式市場は下落して終えた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.66% 下落し 976.05 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は直近 2 営業日で 1.04% 上昇していた。

大型株を中心に売り圧力が高まり、相場は下落することになった。

VN30 指数は 1.02% 下落し 870.81 ポイントで取引を終えた。

30 銘柄の内の 24 銘柄が下落した。

中でも大きく下落したのが、エクシムバンク (EIB)、マッサングループ (MSN)、ノバランド不動産 (NVL)、DHG 製薬 (DHG)、ホアファットグループなどであった。

ベトストック社の調べによると、不動産、銀行、飲食料品、薬品、ヘルスケアなどの直近の上昇を牽引していたセクターが下落の兆候を示しているようだ。

それらのセクターは銀行をはじめとして第二四半期の好決算を発表すると投資家が期待して、直近数週間で大きな上昇をしていた。

エクシムバンク (EIB) は 5.5% 安、ベティンバンク (CTG) は 1.1% 安、テクコムバンク (TCB)、VP バンク (VPB)、HD バンク (HDB) の 3 行は 0.2-0.9% ほど下落した。

一方、サコムバンク (STB) は変わらず、ベトコンバンク (VCB)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、軍隊商業銀行 (MBB) の 3 行は 0.3-0.5% 上昇した。

それら 3 行の上昇は他の銀行株の下落を補うことはできなかった。銀行セクターの上昇トレンドは力尽きたようだが、銀行セクターよりも魅力的なセクターが見つからないという状況だと MB 証券はデイリーレポートで報じた。

木曜日の下落はそれほど懸念するべき状況ではないと思われる。なぜならば、アジア株式全般が下落しており、低い流動性は投資家が相場から完全に身を引いていないことを示しているからだとも MB 証券は語った。

出来高は 1 億 4000 万株で、売買代金は 3.6 兆ドン(1 億 5500 万ドン)であった。相対取引では 1 億 2700 万かぶが取引され、売買代金にして 2.8 兆ドンほどだった。

それらの数値は水曜日よりも少なかった。

Thanh Cong 証券によると、木曜場の下落は相場の過熱感を落ち着かせるために必要なものだったとのことだ。

資金は流入しており、下落した銘柄を中心に物色が広がっていることは、投資家が悲観的ではないことを証明していると同証券は語った。

それゆえ、VN 指数は決算シーズンに中に 990-1000 ポイントに向かって上昇することが期待される。

好決算の期待されるセクターは銀行、小売り、IT、石油ガスだと同社は予想した。

投資家は EVFTA から恩恵を受ける繊維縫製品、工業団地などのセクターで利益を得ようとしていると同社は付け加えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.15% 上昇し 106.74 ポイントで取引を終えた。

3 営業日で同指数は 1% 以上上昇している。

出来高は 3300 万株で売買代金は 5550 億ドンほどであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。